

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成30年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 171-0014

所在地 東京都豊島区池袋2-23-23 白鳥ハイツ102号室

評価機関名 特定非営利活動法人 福祉推進機構アシスト

認証評価機関番号

機構 07 - 177

電話番号 03-6906-5231

代表者氏名 理事長 島田久平

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	吉田 健治	経営	H1001001
	②	島田 久平	福祉	H0702042
	③	大井 桂子	福祉	H0304038
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	障害者支援施設			
	<input checked="" type="checkbox"/> 生活介護			
	<input type="checkbox"/> 自立訓練(機能訓練)			
	<input type="checkbox"/> 自立訓練(生活訓練)			
	<input type="checkbox"/> 就労移行支援			
	<input type="checkbox"/> 就労継続支援(A型)			
	<input type="checkbox"/> 就労継続支援(B型)			
<input checked="" type="checkbox"/> 施設入所支援				
評価対象事業所名称	友愛学園成人部		指定番号	1312800046
事業所連絡先	〒	198-0001		
	所在地	東京都青梅市成木2丁目130番2号		
	TEL	0428-74-4192		
事業所代表者氏名	山本 以文			
契約日	2018 年 6 月 18 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2018 年 9 月 3 日			
利用者調査結果報告日	2018 年 11 月 2 日			
自己評価の調査票配付日	2018 年 8 月 28 日			
自己評価結果報告日	2018 年 11 月 2 日			
訪問調査日	2018 年 11 月 13 日			
評価合議日	2019 年 1 月 14 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	友愛学園成人部は、社会福祉法人友愛学園が設置経営する定員60人の障害者支援施設(施設入所支援、生活介護)である。職員説明会では評価制度の趣旨や評価方法について丁寧に説明した。利用者調査にあたっては施設と事前に十分協議し、利用者の意向がより把握できるよう工夫した。聞き取り調査の前に利用者の活動状況を見学し、調査員3人が10人の利用者に対し1対1の聞き取り調査を行った。訪問調査は評価者3人が施設長等と面接し、実施状況について説明を受け意見交換を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 利用者の一人一人をかけがえのない存在として大切にします。</li> <li>2) 利用者の人間としての個性、主体性、可能性を尊びます。</li> <li>3) 障害のある人たちに対するいかなる差別・虐待・人権侵害を許さず人としての権利を擁護します。</li> <li>4) 障害のある人たちが社会活動に参画し市民社会の一員として生活できるよう支援します。</li> <li>5) 利用者が希望する自立の実現に向けた支援をします。</li> </ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p>
	<p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の願いや思いに耳を傾け、理解し、その実現に向けて真摯に取り組む姿勢を持ち職務に従事する人材。</li> </ul>
	<p>(2) 職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の自己実現、願いや思いに応えるべく、日々切磋琢磨、自己研鑽することを期待する。</li> </ul>

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-2-2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている
タイトル①	外部講師を招き全職員を対象に「虐待防止権利擁護」の内部研修を継続して実施している	
内容①	利用者に対して差別、虐待、人権侵害を無くすため「利用者権利擁護規程」「虐待防止規程」で遵守の基本事項を規定している。法人研修や外部での虐待防止研修に毎年職員を受講させている。「虐待防止・権利擁護委員会」は、毎年、外部講師を招き全職員を対象に「虐待防止権利擁護」などの内部研修を継続して実施しており、職員のセルフチェックリストによる振り返りや困難事例の検討などを行っている。また、拘束を行わない支援の組織作りを目指しており、拘束時は「身体拘束等行動制限の取扱要領」に基づき厳格に対応し廃止に向けて検討を進めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル②	工房を市民に開放し陶芸や草木染め教室など地域貢献活動を積極的に展開している	
内容②	施設の社会化の推進に向けて施設の開放や地域貢献活動を積極的に展開している。紙漉きの原材料を取る「桑刈り」には、多くのボランティアの協力を得ており、年3回開催している法人の「音の輪」のコンサートには、地域の方や他事業所が参加し好評を得ている。休日に工房を市民に開放し、陶芸、和紙制作、草木染めの無料体験教室を開催している。また、西多摩地区の障害者施設職員を対象とした研修会を毎年開催している。利用者の陶器等創作品の展示販売や著名なデザイナーのファッションショーとコラボして草木染めの作品を発表し反響を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-1	個別の支援計画等に基づいて、利用者の望む自立した生活を送れるよう支援を行っている
タイトル③	計画書などの書式を改定し、具体的に利用者の意向、思いを反映できるようにしている	
内容③	平成30年度の事業計画では利用者の意思決定を尊重し、個別支援計画書に基づいて良質で安全なサービスを提供するとし、利用者が自立した日常生活、または社会生活が営むことができるように支援をしている。計画書などの書式を29年度に改定し、具体的な項目で利用者の意向、思いを反映できるようにしている。施設入所では生活、情緒、健康、余暇の項目、生活介護では日中活動、安全管理・生活面において必要な支援の項目で重点課題への取り組みについて作成している。サービス調整会議では、客観的に支援の見直しを図り統一した対応を目指している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	利用者の重度・高齢化に向けて、専門施設整備の在りかたや看取りなど継続して取り組むために中長期委員会を立ち上げ検討を進めている
	内容	利用者の重度・高齢化への対応が重要課題となっており、医療との連携や専門知識技術を習得した職員育成を進めている。各部署・多職種で構成するサービス調整会議では、医療との連携、リハビリの強化、療養型病院への転院調整や食事の個別対応として、見た目は常食と同じペースト食の提供など個別支援計画に反映させている。また、人生の終末期をどう迎えるかのQOLの維持や専門施設整備の在りかた、看取りなども含め継続して取り組むために関係部署で構成する中長期委員会を立ち上げビジョンづくりを進めている。
2	タイトル	日中活動は利用者の個別の心身の状態に合わせて、多種多様な20数種類のメニューを提供して、その人らしさを引き出す支援している
	内容	日中活動は利用者の個別の心身の状態に合わせて、多種多様なメニューを提供してその人らしさを引き出している。プログラムは20数種類あり、創作系は紙漉き、陶芸、木工、作画、染色、織物などのメニューで支援している。リハビリ系の活動は、近隣の公園でウオーク、音楽療法、足浴、踊りの時間、ビーズ作業、少人数での外出や散歩、理学療法士・作業療法士による機能回復・維持訓練、リラクゼーション、音楽遊びや歌のお部屋を毎週開催、踊りや太鼓の時間と多彩なメニューは、日中にメリハリや集中力を生み心と体の安定と活性化に繋がっている。
3	タイトル	日頃の創作活動を積極的に発表し、国際交流イベントに創作衣装、縫製作品を提供し大きな反響を得るなど、全国的に高い評価を受けている
	内容	四季の変化が美しくゲンジ虫が飛び交い、エビネなどの貴重な植物が育つ自然豊かな場所に事業所がある。日中活動の作業棟は、生活棟に隣接して建っている。障がいがある人たちが輝いて生きるための支援に努めている。「作りたい時に作り、描きたいから描く、その日々の天真爛漫さに今日も感動している」と小冊子で施設長は述べている。日頃の創作活動を積極的に発表し、国際交流イベントに創作衣装、縫製作品を提供し大きな反響を得ている。創作活動の都の代表的な事業所として、国の障害者芸術普及活動へ主導的に参加し、全国から多数の見学がある。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人ホームページでは、事業所情報を載せて成人部の情報も掲載されているが、新規利用希望者向けに更に内容を充実した工夫を期待したい
	内容	成人部の情報はホームページ、法人広報誌、成人部広報誌、法人の事業全体を紹介するパンフレット「法人要覧」、成人部のパンフレット等多岐にわたる方法で提供している。法人広報「友愛」は年3回、各1000部発行し、関係市区町村や関係機関に郵送している。最新号では理事長就任あいさつ、予算・決算、各事業所の事業計画及び事業報告、活動状況などメッセージ性と透明性の高い誌面にしている。法人ホームページでは、事業所情報を載せて成人部の情報も掲載されているが、新規利用希望者向けに更に内容を充実した工夫を期待したい。
2	タイトル	若年層の強度行動障害や自閉症スペクトラムに対応できる人材育成の強化など障害特性に配慮した支援の構築が期待される
	内容	利用者の重度・高齢化に加え若年層の支援が必要となっており、行動障害など専門・技術的能力を有した人材育成が課題となっている。このため東京都の強度行動障害養成研修に3名が受講し、研修報告や勉強会を行い職員の対応力の向上を図っている。今年度も、外部の専門研修に強度行動障害者支援や自閉症スペクトラム対応研修に複数名参加させている。また、法人児童部からエキスパート1名が異動で配置しており、職員一人ひとりが問題意識と専門知識を持ち障害特性に配慮した支援ができる体制の構築が期待される。
3	タイトル	職員の意見を取り入れた新たな人事考課制度の構築に着手しており、更なる職員の意欲向上に向けた制度の構築が期待される
	内容	友愛学園成人部では、職員が働きやすく、目標と意欲、責任ある業務が遂行できる活気ある職場づくりを目指している。日常的に気軽な雰囲気です上司に相談できるような関係づくりを図っており、施設長は、職員に声かけや中堅職員を中心に適宜、面談・ヒアリングを行い意見や提案を吸い上げ職場の活性化に努めている。また、人事考課制度は、今年度から本格実施となり評価結果は、来年度から賞与等に反映される。法人はさらに、職員の意見を取り入れた新たな人事考課制度の構築に着手しており、更なる職員の意欲向上に向けた制度の構築が期待される。